

スクリムテックジャパン(福岡県筑紫野市、河野泰之社長)のホームコネクターがさきごろ、ネットイーグルのプレカットCADに組み込まれ、同CADで利用できるようになった。

これにより設計段階での連携が高まること
が期待されている。ホームコネクターは近年、中大規模木造物件での利用も増えており、その設計、加工の円滑化の追い風になることも期待される。

ネットイーグルのプレカットCADに搭載

中大規模木造設計・加工円滑化の追い風に

スクリムテックジャパン

することで、木材と木材をガタなく接合する技術。I型とS型の2タイプのロッド形状があり、この2種類でほぼすべての継ぎ手、仕

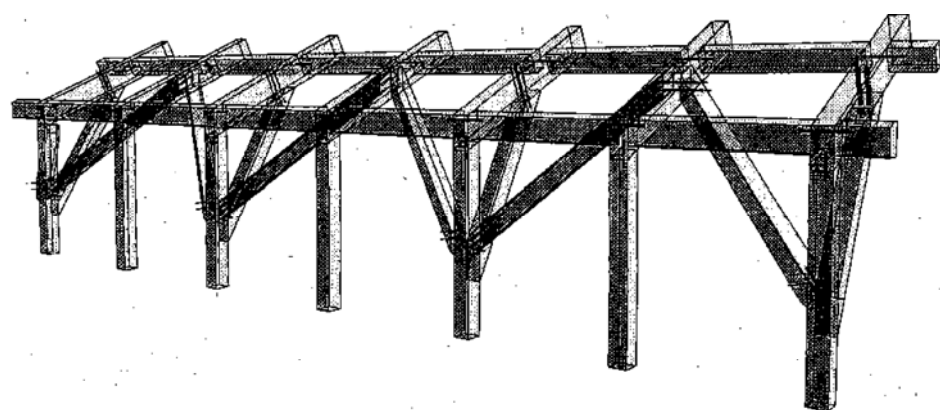
入、木材とホームコネクター間の隙間に接着剤注入ガンを使用して枝管から専用接着剤(ACH)を加圧注入

口をカバーできる。加えて、幅の狭い仕口と柱の接合も、強度を確保して接合できる。

加築物でも利用が増えている。注目されるのが一般流通材を活用した合掌・トラスでの利用。ホームコネクター

自体は木材内部に収納されるため、木質トラス

スや現し工法などに利用すれば、金物が目立たず木材の意匠性を生かすことができる。また、温泉施設など水場では金物の錆などが懸念されるが、ホームコネクターは木材に被服されているうえ、耐薬品性の強い接着剤(エポキ



ネットイーグルのプレカットCADでのパース図

シ)で完全コーティングされているため、錆の問題も起こらない。今後、ホームコネクターの特徴を生かした利用拡大が期待されている。